NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY(KOSEN), TOMAKOMAI COLLEGE

高専通信



VOL.172

オリエンテーション　オープンキャンパス　高専体育大会

クラブ活動報告　海外研修座談会　TOPICS

2026年10月発行

苫小牧工業高等専門学校　〒059-1275　苫小牧市字錦岡443　苫小牧工業高等専門学校　総務課総務係
[URL]https://www.tomakomai-ct.ac.jp　[MAIL] pub_info@tomakomai-ct.ac.jp

令和8年度
第1学年オリエンテーションを実施しました

4月16日(木)第1学年オリエンテーションが実施されました。1年生が今後系配属を決める上で参考とするため、各系の教員より、系で学べる内容や就職・進学状況等について説明を受けたほか、学生生活を過ごす上での規範意識向上のため、苫小牧警察署および弁護士事務所より講師を招き、「薬物使用防止」や「SNS不正利用やいじめ」に関する講演を受けました。また、低学年のみ参加可能な「タイ・カセサート大学への海外派遣事業」や高学年から各種相談を受けることができる「ピアサポーター制度」についても説明を受け、充実したオリエンテーションとなりました。





令和8年度 授業参観 実施報告

教務主事補
山本 椋太

令和8年度の授業参観を5月1日9時から16時の時間帯にて実施いたしました。

授業参観には、多数の保護者の皆様にご来校いただきました。この場をお借りいたしまして、多くの保護者の方に授業参観にご参加いただきましたことにつきまして感謝を申し上げます。

例年、多くの方に授業参観にご参加いただいております。今年度も昨年度と同様、授業時間中に自由に教室に出入りいただく形で開催しており、国語、数学などの一般科目、各専門系の専門科目・実習科目など、様々な科目が見学対象となっておりました。日頃の授業の様子を感じていただけましたら幸いです。

現在は新カリキュラムが始まって5年目であり、5年生の科目が新科目に置き換わっている最中となります。また、今年度入学生より情報エレクトロニクス系の設置があり、さらに未来を見据えたカリキュラムが始まっていきます。苫小牧周辺での半導体企業の進出、加えて、世の中でも情報通信技術、特にAI技術およびその応用の進化の速度は増すばかりです。このような激しい世の中の変化に対応できることが、これからはますます求められます。また、世の中の変化に対応するため、昨年度に引き続き、道内4高専合同による「北海道半導体みらい論」を1から3年生の希望者を対象として開講しており、また、「AI・データサイエンス」を2・3年生に開講しております。今後も、基礎となる技術・知識を着実に身に着けつつ、様々な社会のニーズに応えられるよう、教育の充実に取り組んでまいります。

最後になりますが、今後とも、苫小牧高専における教育・研究活動、学校・寮生活等へのご理解ご協力をいただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。





第2学年 オリエンテーション

都市・環境系



2年2組 竹本愛莉

2年生になってからは、1人1人が専門分野を選び、新たなことを学び、将来のための進路実現を本格的なものにしていきます。私は、専門科目の勉強の難しさや将来への不安なこともありました。ですが、オリエンテーションでは、先生から都市・環境系の概要や授業内容、進学先や就職先について教えていただきました。先輩からは「こういう資格を取った方が良い」「この科目は最初のうちは簡単だから、最初のテストで点を取れるだけ取って置くと後々便利」など、いろいろなことを教えてもらい、将来の進路実現について、具体的に考える機会となりました。

成長するために今後四年間も、自ら進んで進路実現のためになることをこなすように努めます。1人1人が、それぞれ自分たちの進路に進んでいけるよう、尽力していきます。

機械系



2年1組 中野杏南

4月下旬に行われたオリエンテーションでは、先生方から今後の学校生活で学ぶ内容などの説明を受けました。また、先輩方からは留学や進学・就職の話を伺いました。

留学先での楽しそうな写真とともに、実際に経験したからこそ得られた学びを聞き、自分自身の将来を考える良い機会となりました。

今回のオリエンテーションを通して、自分も2年生となり、より専門的で学術的な内容を学んでいくのだという自覚が芽生えました。今後はひとつ学んで終わりにするのではなく、これまでの内容とのつながりを意識して学習したいです。また、先生方にメールを送ったり、レポートを書いたりする機会も増えるため、学生としての常識を身に着け、相手に失礼のない言動を心掛けていきたいと思います。

応用化学・生物系



2年3組 田中　杏

オリエンテーションで最も印象的だったのは、先生方の自己紹介です。たくさんの先生方が続々と教室に入ってきて、その後先生方の趣味や好きな食べ物についてなどが書かれた月刊誌風の紹介冊子をもらいました。それは内容だけでなく表紙までこだわられていて、学生への愛を感じました。1年生の時には関わりがなかった先生方と顔を合わせるとなると、クラス内では少し緊張した雰囲気もあったと感じますが、その紹介冊子のおかげもあってクラス中に笑顔があふれ、その緊張はかなり解けたように思えます。自己紹介の後、先生方に教員室や実験室を案内していただきました。関わりやすい先生方の存在や充実した設備を知り、私は応用化学・生物系に来てよかったと思いました。

電気電子系



2年4組 吉田唯紗樹

今回のオリエンテーションで、2年生からは専門系の実験が始まり、毎回レポートを作成する必要があると知り、気を引き締めて取り組かなければならないと感じました。実験器具も本格的なものを使うため、内容を理解しながら進めることが大切だと思いました。

また、今年は初めて学級委員長に挑戦し、クラスをまとめる責任の重さを実感しました。

初めてのことばかりで失敗することもあると思うが、同じ失敗を繰り返さないように意識しながら、自分を少しずつ委員長らしい姿へと成長させていきたいです。

2年生としての学習と役割を両立しながら、落ち着いて前に進んでいきたいです。

情報科学・工学系



2年5組 黒田菜希

情報科学・工学系の2学年オリエンテーションでは、これから学ぶ内容や留意点についてと、情報科学・工学系の先生方の紹介や2年生同士での自己紹介、そして先輩方のお話がありました。

1人目の先輩のお話では、今までの学生生活で楽しかったことや気をつけたほうが良いことについて聞きました。印象に残っているのは先輩のアドバイスで、レポートは早めに終わらせたほうがいいのだと再確認しました。また、もう1人の先輩は情報科学・工学系の学科展のお話でした。学科展では班に分かれて活動し高専祭に向けて学年の壁を越えた共同制作をするそうです。

まだ2年生は始まったばかりですが、忘れられない高専生活になるよう楽しんでいきたいです。

寮祭を振り返って

3年3組 西槙ゆい

今年度の寮祭は5月中旬に開催し、スポーツ大会を行いました。今年は「ケイドロ」と「ito」の二つのレクリエーションを実施しました。

最初に行ったケイドロでは、体育館を全力で走り回り、警察役と泥棒役に分かれて白熱した勝負が繰り広げられました。学年を越えて作戦を立てたり、仲間と協力して助け合ったりする姿が多く見られ、終始大きな盛り上がりを見せました。想像以上に運動量が多く、競技後には疲れ果てた様子の寮生も多く見られましたが、その分、緊張もほぐれ、自然と笑顔や会話が増えていきました。

続いて行った「ito」では、1から100までの数字が書かれたカードをお題に沿って言葉で表現し、相談しながら数字順に並べることに挑戦しました。一見簡単そうに見えるゲームでしたが、自分の数字を直接言えないため表現が難しく、苦戦する班も多く見られました。しかし、その難しさがかえって会話を生み、「それならもっと大きいかも」「私はこのくらいかな」と意見を交わしながら、班全員で協力して正解を目指す姿が印象的でした。ケイドロで打ち解けたこともあり、普段あまり関わる機会の少ない1年生から5年生までの寮生同士が自然に交流を深めることができたと感じています。

今回の寮祭を通して、学年や学科の垣根を越えた交流を深めることができ、寮生活ならではの良さを改めて実感する一日となりました。この行事が寮生一人ひとりにとって思い出に残る時間となっていれば嬉しく思います。また、来年度以降も多くの寮生が楽しみながら交流を深められる寮祭にしていけることを願っています。





春季体育大会を終えて

学生主事補　多田光宏

令和8年6月18日（木）に春季体育大会が開催されました。抜けるような青空の下、全校学生のラジオ体操で幕を開けた大会は、各クラスが優勝を目指して白熱する大会となりました。駅伝、系対抗リレーは、応援に込める熱もひとしおでした。残念ながら、夕方近くに霧雨が降り始め、ソフトボールは、短縮した形式での決勝戦となりましたが、それでも、決勝戦に参加したクラスは選手だけでなく応援も最後まで盛り上がっていました。結果に対しては、嬉しかったり悔しかったりそれぞれの思いがあるでしょうけれども、参加して一生懸命に身体を動かした選手の学生も声を枯らして応援した学生も、この日が充実した一日になったであろうことは想像に難くありません。

最後になりますが、今大会を運営するにあたり協力して頂いた体育委員の皆さん、審判の手伝いをしてくださった各クラブの部員の皆さん、競技に参加してくださった教職員の皆さん、競技に様々な形で協力してくださった教職員の皆さんに心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。今後の体育大会についてもご理解とご協力をどうかよろしくお願いいたします。













高専体育大会

第62回北海道地区国立工業高等専門学校体育大会の成績（個人戦は入賞者のみ掲載）

テニス
7月4日～5日開催
千代台公園庭球場

男子	団体戦		第３位
	個人戦ダブルス	相田啓斗(3-3)・泉栄人(3-1)	第３位
女子	個人戦シングルス	依藤朝陽(2-3)	第１位
		佐藤心結(3-3)	第３位
	個人戦ダブルス	佐藤心結(3-3)・渋谷鳳花(3-3)	第３位

サッカー
7月11日～12日開催
阿寒町多目的広場

男子		優勝

剣道
7月11日開催
釧路市鶴ケ岱武道館

男子	団体戦		準優勝

ハンドボール
7月11日開催
函館サーモン・まるなまアリーナ（函館アリーナ:サブアリーナ）

男子		準優勝

卓球
7月11日～12日開催
函館工業高等専門学校体育館

男子	団体戦		優勝
	個人戦シングルス	藤谷光希(3-4)	第１位
		會澤　和(1-3)	第２位
		中井涼介(2-4)	第３位
	個人戦ダブルス	川合優佑(1-3)・山下広樹(1-1)	第１位
		奥野椋太(3-4)・藤谷光希(3-4)	第２位
		會澤　和(1-3)・脇坂蓮斗(1-5)	第３位
女子	団体戦		優勝
	個人戦シングルス	丹波瑠菜(2-2)	第１位
		酒井百恵(3-2)	第２位
		猪股万夢(5-4)	第３位
	個人戦ダブルス	酒井百恵(3-2)・丹波瑠菜(2-2)	第１位

バレーボール
7月3日～4日開催
苫小牧市総合体育館

男子		準優勝
女子		優勝

バドミントン
7月18日～19日開催
リクルートスタッフィングリック&スー旭川体育館

男子	団体戦		優勝
	個人戦シングルス	今井瀬那(5-1)	第１位
		高野勇斗(5-2)	第２位
	個人戦ダブルス	今井瀬那(5-1)・高野勇斗(5-2)	第１位
		平賀　匠(1-4)・日開大雅(1-5)	第３位
女子	個人戦シングルス	仁平りよ(5-1)	第３位
	個人戦ダブルス	仁平りよ(5-1)・打田和月(5-2)	第２位

ソフトテニス
7月11日～12日開催
苫小牧市緑ヶ丘運動公園庭球場

男子	団体戦		優勝
	個人戦ダブルス	久保琥珀(5-4)・江良楓真(5-1)	第１位
		川上拓夢(5-2)・縣　晃一(5-2)	第２位
		高橋遼星(4-1)・藤田一真(4-1)	第３位
女子	個人戦シングルス	今井　泉(5-3)	第２位
		高橋乃愛(5-3)	第３位
	個人戦ダブルス	今井　泉(5-3)・西槙ゆい(3-3)	第２位
		高橋乃愛(5-3)・中野古都(5-5)	第３位

バスケットボール
7月11日～12日開催
函館サーモン・まるなまアリーナ（函館アリーナ:メインアリーナ）

男子		優勝
女子		第３位

アーチェリー
7月11日開催
釧路工業高等専門学校洋弓場

男子	団体戦		優勝
	個人戦	佐々木創大(2-1)	第２位
		小野慶治(4-1)	第３位
女子	個人戦	今野杏奈(3-1)	第１位
		赤井叶望(2-2)	第２位
		八島愛梨(1-4)	第３位

野球
7月3日～4日開催
花咲スポーツ公園硬式野球場（スタルヒン球場）

男子		第３位



TOPICS

国立アイヌ民族博物館（民族共生象徴空間（ウポポイ）：白老町）の本校学生・教職員の利用について

このたび本校は「ウポポイキャンパスメンバーズ」に加入しました。

これにより、本校学生および教職員は、学生証もしくは職員証（身分証明書）の提示をすることで、白老町にある民族共生象徴空間（ウポポイ）を、以下の特典で利用することが可能となりました。

民族共生象徴空間（ウポポイ）は、アイヌ文化を学ぶことを通して、多様な価値観や文化への理解を深め、これからの社会を考える場であり、教育・研究の観点からも大変有益な施設です。

この機会に、授業・研究活動のみならず、地域理解や自己研鑽の一環として、ぜひ積極的にご活用ください。

「ウポポイキャンパスメンバーズ」特典

1 ウポポイ入場料の免除

学生証または職員証（身分証明書）の原本を提示することにより、本人に限り、会員期間中（令和8年8月1日～令和9年3月31日）は何度でも無料で入場することができます。※同行者や教職員の家族等の利用はできません。本人に限ります。

2 特別展示入場料の割引

国立アイヌ民族博物館において開催される特別展示について、学生証または職員証の提示により、割引料金で観覧することが可能です。

3 対象者

学生証・職員証を保有する本人（同行者・家族等は対象外）

4 利用方法

入場料免除	エントランス棟有料エリア入場ゲート（有人窓口）にて、学生証（原本に限る：アプリの利用は不可）または職員証（原本）を提示し、「ウポポイキャンパスメンバーズ」利用の旨をお申し出ください。
特別展示割引	博物館受付にて学生証または職員証（原本）をご提示ください。

※学生証または職員証等の提示がない場合は、理由の如何を問わず入場料無料等の特典を受けることができませんので、ご注意願います。

5 参考

「ウポポイキャンパスメンバーズ」の詳細は以下の公式サイトをご確認ください。
https://ainu-upopoy.go.jp/education/campusmembers/

東京で苫小牧市と共同イベントを開催しました

7月21日（火）に東京のEZO HUB TOKYOにおいて、「苫小牧高専TOKYO Meetup!～集まれ!苫高専応援団!～」と題した苫小牧市との共同イベントを開催しました。

イベントでは金澤苫小牧市長から苫小牧市の紹介、長野校長からの学校プレゼンに続き、本校の5名の学生が、それぞれの研究、課外活動での取り組みや将来への目標を発表しました。学生たちの熱意あふれる発表に、参加された首都圏企業の皆様からも非常に高い関心と評価の声が寄せられました。また食事をしながら和気あいあいとした雰囲気で交流が行われ、苫小牧市、苫小牧高専を知っていただき、応援いただけるきっかけとなるイベントになりました。





高専体育大会

第61回全国高等専門学校体育大会の結果について

全国高等専門学校体育大会は、高専教育の一環として、広くスポーツ実践の機会を与え、技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な学生を育成するとともに高専相互の親睦を図ることを目的として毎年開催しています。各地区の高専体育大会を勝ち抜いてきた高専学生が集い、14ある競技種目を競う大会です。

本校からは、テニス、ソフトテニス、バスケットボール、バドミントン、卓球、バレーボール、水泳の7種目に出場しました。成績の詳細は次のとおりです。

なお、12月19日から三重県で開催されるサッカーの全国大会へ出場予定です。

テニス
8月26日～28日開催
富山県岩瀬スポーツ公園テニスコート（富山県）

女子	団体戦		一回戦敗退
	個人戦シングルス	依藤朝陽（2-3）	一回戦敗退

ソフトテニス
8月29日～30日開催
三重交通Gスポーツの杜鈴鹿庭球場（三重県）

男子	団体戦		予選リーグ敗退
	ダブルス	川上拓夢（5-2）・縣　晃一（5-2）	一回戦敗退
	ダブルス	久保琥珀（5-4）・江良楓真（5-1）	二回戦敗退

バスケットボール
8月29日～30日開催
津市産業・スポーツセンター日硝ハイウエーアリーナ（三重県）

男子			予選リーグ敗退

バドミントン
8月28日～30日開催
岐阜メモリアルセンター（岐阜県）

男子	団体戦		一回戦敗退
	個人戦シングルス	今井瀬那（5-1）	一回戦敗退
	個人戦ダブルス	今井瀬那（5-1）・高野勇斗（5-2）	一回戦敗退
混合	個人戦ダブルス	高野勇斗（5-2）・仁平りよ（5-1）	一回戦敗退

卓球
8月22日～23日開催
富山県総合体育センター（富山県）

男子	団体戦	3位決定トーナメント	一回戦敗退
	シングルス	藤谷光希（3-4）	予選リーグ敗退
	ダブルス	川合優佑（1-3）・山下広樹（1-1）	予選リーグ敗退
女子	団体戦		予選リーグ敗退
	シングルス	丹波瑠菜（2-2）	予選リーグ敗退
	ダブルス	酒井百恵（3-2）・丹波瑠菜（2-2）	3位決定トーナメント敗退

バレーボール
8月29日～30日開催
三重県営サンアリーナ「メインアリーナ」（三重県）

女子			予選リーグ敗退

水泳
8月22日～23日開催
岐阜メモリアルセンター長良川水泳スイミングプラザ（岐阜県）

男子	100m平泳ぎ	高橋　昊（3-5）	第3位
	200m平泳ぎ	高橋　昊（3-5）	第5位
	200mバタフライ	池野聖曜（2-1）	第7位



オープンキャンパス 2026


学校概要説明の様子


機械系の体験コーナー
「3次元CADシミュレーション」


都市・環境系の「波」の実験展示


応用化学・生物系の体験コーナー
「フルオレセイン合成実験」


情報エレクトロニクス系
（電気情報システムコース）の「放電現象」の
実験展示


情報エレクトロニクス系
（情報科学・工学コース）の体験コーナー
「情報セキュリティ体験」


高専コンテスト展示の様子


図書館見学の様子


入試問題解説の様子


個別相談会の様子

オープンキャンパス開催報告

教務主事補　松尾優子

今年度は7月25日（土）・26日（日）の2日間にわたり開催し、両日とも天候に恵まれ、多くの皆様にご来場いただきました。2日間の参加者数は、中学生474名、保護者等612名の合計1,086名となり、市内外から多くの方々にご参加いただきました。ご来場いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

当日は、各専門系による体験・実験・展示コーナーをはじめ、学校概要説明会、学生寮見学、Tech Lab MIRAI（工房）見学、入試問題解説、高専ロボコン・プロコンなど高専ならではのコンテスト展示を実施しました。参加者の皆様には、本校の教育内容や学生生活について多面的に知っていただく機会となりました。

アンケートでは、「苫小牧高専についてとても理解が深まった・ある程度理解が深まった」と回答した方が99%となり、本校への理解を深めていただく機会となり、大きな成果を得ることができました。

また、「参加した系体験での実験・実習」については、「とても良かった」「良かった」と回答した方が約98%に達しました。

「苫小牧高専を進学先としてどの程度考えているか」に対しては、「第一希望」「候補の一つ」との回答は約81%という結果となり、本校への高い関心を持っていただけたことがうかがえます。

多くの皆様のご参加とご協力により、今年度のオープンキャンパスも盛況のうちに終了することができました。今後も、中学生や保護者の皆様に本校の魅力や特色をより分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

アンケートでいただいたご意見の一部を紹介いたします。

- 高専生の対応、実験の内容、何をとっても『すごいな』というのが感想です。
- 公立高校では感じられないわくわくするような雰囲気が感じられました。将来を見据えて入学できる学校だと思いました。
- 高い技術や知識を学ぶだけではなく、基礎から応用までしっかり学べる場であると感じました。様々なことを興味をもって学び、深めていける素敵なところだと感じました。
- 学生の方が活き活きと楽しそうに説明してくださったのが、印象的でした。
- 素敵な先生方や先輩方と楽しい時間をすごせて楽しかったです。色々進路を悩んでいましたが第一希望に決めました！頑張ってこちらの学校に入学したいです！ありがとうございました！
- 子供よりも大人が夢中になる素晴らしいオープンキャンパスに参加できました
- 先生方や学生さんが気さくに話しかけて下さり、興味深くお話しを伺う事が出来ました。実験施設や図書館もじっくりみる事ができ、設備環境が充実していると感じました。



クラブ活動報告

ボランティア同好会



ボランティア同好会部長の山本竜馬です。ボランティア同好会は現在、各学年合わせて20名の部員で活動しています。私たちの主な活動ペースは2か月に1~2回ほどで、学業や他の活動などとも無理なく両立しながら、一つ一つの活動に全員で丁寧に取り組んでいます。

主な活動内容としては、普段自分たちが利用しているキャンパスをきれいにする構内清掃や、地域社会に貢献する町内会のごみ拾い、高齢者施設の花壇整備などを行っています。また、苫小牧市が運営している「とまこまいキッズタウン」での運営スタッフボランティアにも参加しており、子どもたちが職業体験を楽しむ姿を間近でサポートしています。



5年2組 山本竜馬

私たちの活動の一番の魅力は、どの活動に参加しても地域の方々や子どもたちから「ありがとう」「助かったよ」と直接感謝の声をいただけることです。自分の行動が誰かの役に立ち、地域に貢献できていることを実感できる瞬間は、何物にも代えがたい大きなやりがいとなっています。また、活動を通じて状況に応じた気配りなども自然と身につきます。

部員の多くは高専に入学してからボランティアを始めた初心者ばかりで、学年や専門系の枠を超えて活動しています。2か月に1~2回という無理のないペースだからこそ、集中して楽しく取り組むことができます。

「地域に貢献したい」「人の役に立つ実感を味わいたい」「他系の仲間と楽しく交流したい」という方は大歓迎です。経験は一切問いませんので、少しでも興味がある方はぜひ一度見学や活動に来てください。皆さんのご参加を心よりお待ちしております！



English Club同好会

Hello everyone!　都市・環境系4年生の塙結起乃です!

今年度に新設したEnglish Club同好会では、英語を「勉強する」だけでなく、実際に使いながら楽しく身につけることを大切にしています。毎週火曜日には、愉快なメンバーたちと一緒に英語を使った交流活動を行っています。留学生も多く参加しており、ボードゲームや交流会などを通して、普段の学校生活の中で楽しく英語を使う機会をつくっています。

校内活動に加え、校外での活動にも積極的に挑戦しています。昨年度の苫小牧高専主催English Campでは、旭川高専ESSと一緒に企画・運営に取り組みました。また、札幌で開催される国際ユースフォーラムなどにも毎年参加しています。

今後は、さらに他高専を含む校外での交流を広げ、英語を通して新しい仲間と出会える機会を増やしていきたいと考えています。

English Club同好会にはたくさんの魅力があります!他高専生や留学生との交流ができるだけではなく、海外経験が豊富なメンバーがたくさん所属していることも魅力の1つです。

学校が実施する海外研修や留学プログラムに参加した経験のある学生、さらには「トビタテ!留学JAPAN」などを利用して海外留学を経験した学生もいます。実際の海外生活やぶっちゃけトークなどを直接聞いてみませんか?

英語に自信がなくても心配はいりません。英語を使って誰かと話してみたい、外国の文化を知りたい、海外留学に興味がある、他高専生と交流してみたい、英語のテストで良い点数を取りたい!、という人にはぴったりの同好会です！

私たちと一緒に英語を楽しみませんか?

少しでも興味がある人は、連絡・見学お待ちしております!

Let's enjoy English together!



Club Activities

バドミントン部

こんにちは、バドミントン部部長の丸山透和です。

僕たちは今、1~5年生の約40名で火曜日以外の平日放課後と週末に、第2体育館で活動しています。

うちの部の自慢は、とにかく「自由で雰囲気が良い」ところです。「運動不足を解消したい!」「友達と楽しく打ちたい」というエンジョイ勢から、「全国で一勝したい!」と本気で打ち込むガチ勢まで勢揃い。それぞれのスタンスを尊重し合っているので、居心地の良さは抜群です。先輩・後輩の壁もほとんどなく、休憩中はくだらない話で笑い合い、コートに入れば真剣にお互いのアドバイスを聞き入る。そんな空気感でやっています。



大会の実績についてですが日々の練習の成果を発揮でき、今年も全国高専大会に出場することが出来ました。特に男子団体戦は今年で全道大会3連覇なので、4連覇目指して頑張ります！



「やってみたいけどラケットがない」「初心者だし足手まといにならないかな…」という人も全然心配いりません！ラケットは貸し出しますので、体育館シューズと動ける服さえあれば手ぶらでOKです。ルールや打ち方も先輩たちがイチから教えます。

経験者はもちろん、初心者も大歓迎です。少しでも気になったら、ぜひ一度第2体育館を覗きに来てください。部員一同、楽しみに待ってます！



カーリング部

私たちカーリング部は、現在11名の部員で、月1~2回ほど活動しています。活動内容は基礎的なストーンを投げる際のフォームやスイープの練習、模擬試合などを行っています。

スキップを担当する部員は模擬試合でストーンがどう曲がるかを判断するラインを見る練習や、コールのタイミング、適切な指示を判断する練習も行います。

練習中は先生方から教えていただくのはもちろん、部員同士でアドバイスをし合いながら練習する場面も多く見られます。

活動場所は主にときわと沼ノ端のスケートリンク場で、長期休業中には札幌のカーリング場で練習を行うこともあります。

また、大会にも参加しており、今年度は5月に道南ブロックカーリング大会で1チーム、7月のサマーカーリング大会に2チーム出場しました。普段の練習とは異なるメンバーで試合を経験することで、出場した部員の多くが試合を通して戦略を学び、経験を積むことができました。また、カーリングをされている一般の方々と交流する良い機会にもなりました。大会の休憩時間には学生同士が積極的に交流し、部員同士の仲をより深めることもできました。



4年3組 大沢美波



今後の活動では、さまざまな大会に出場することで活動の幅を広げることを目指し、初心者でも活動しやすい環境を維持して、部員同士で協力しながら活動を続けていきたいです。

運動得意な方も苦手な方も楽しめるカーリングに少しでも興味のある方は、10月の学校祭でのフロアカーリング体験や、4月に行われる説明会などにぜひお越しください!



台湾・異文化産業理解型研修座談会



令和8年8月17日（月）から21日（金）までの5日間、台湾の台北市・新竹市で文化・産業施設の見学、現地学生との交流、大学訪問などを行う学生派遣研修を実施しました。研修参加者12名のうち、有志4名で座談会を行いました。【聞き手】有馬隆司准教授／鈴木修平准教授／フェルナンド准教授

3年1組:田口佑介	4年3組:ジャレッドアキルフェルナンド（マレーシアからの留学生）	5年2組:對馬理彩	専攻科2年:中嶋一心

○研修に参加しようと思ったきっかけ

田口：もともと、台湾に行ってみたいなと思っていたことと、両親が台湾に行った時に「楽しかった」と聞いていたことです。初めての海外だったので、それなら安心かなと思って応募しました。

對馬：4月にあった台湾研修の説明会に後輩に誘われて参加しました。小学生の時に千歳市の交流事業でアラスカに行ったのですが、高専に入ってからは全然国際交流に触れてこなかったので、最終学年ということと、何か一つでも自分から一歩踏み出してみよう、今度は南の方に行くのもいいかなと思い、参加を決めました。

有馬：久しぶりの海外はどうでしたか？

對馬：いろいろ勉強や経験をして、再び海外に行ったので、楽しめることが増えたと思います。

中嶋：募集を見て、「異文化産業理解型」というところに興味を持ちました。この春から、産業や経営の基盤整備に関わる仕事に関心を持っていたこともあって、一度、外の世界を見てみたいという気持ちがありました。初めての海外で少し不安もあったんですが、専攻科の担当の先生から「まず一回行ってみなさい」と後押しされて、参加しました。

ジャレッド：台湾の文化や半導体産業に興味があり、実際に現地を訪れて見聞を広めたいと思ったことです。自分の専門である化学系の分野と半導体産業との関わりや、マレーシアでも半導体産業が広がっていることから、将来のキャリアについて考える機会にもしたいと思いました。

○出発前に心配だったこと

田口：一番心配だったのは、やっぱり言語ですね。普段勉強しているのは英語ですが、台湾では中国語なので、意思疎通ができるか心配でした。でも、意外と皆さんフレンドリーでしたし、簡単な英語でも伝わるんだなということを実感できました。日本語で話してくれた人もいて、結局、伝えようという意思があれば何とかなるのかなと思いました。あと、eSIMを空港でアクティベートしようと思ったらできなくて、1日目の夜までにはモバイルデータを使えませんでした。行く前にもう少し準備しておけば良かったなと思いました。

有馬：「伝えよう」と思う気持ちが大事だということに気づいてもらえたのは、この研修の目的の一つでもあるので、すごく良かったと思います。実際、英語を使うタイミングはありましたか？

田口：研修中は意外と少なく、自由行動の時が多かったと思います。タピオカドリンクのお店へ行った時は、最初英語を使いました。でも、店員さんが日本人だと気が付いてからは簡単な日本語でやり取りすることも多かったです。英語も単語でのやり取りが多くて、難しい文章を使うことはありませんでした。

中嶋：英語を使ったのは、ホテルでハサミを借りる時と、飛行機の中で飲み物を聞かれた時くらいだったと思います。

有馬：そうですよね。お店に行ってもメニューが日本語で用意されていたりしましたし、英語が苦手でも行きやすい研修だったかなと思います。

對馬：暑さや気候がちょっと心配でした。でも、意外と行けば慣れるというか、2日目くらいにはだいぶ慣れてきました。ただ、湿度はすごかったですね。ホテルを出て一瞬で眼鏡が曇った時はびっくりしました。

ジャレッド：一番心配だったのは人間関係です。出発前は、みんなとまだ仲良くなれていなかったので少し心配でしたが最終的には仲良くなれました。

有馬：皆さん、すごく仲良くなったなと見ていて思いました。学年もバラバラですし、それ以前は「少し知っているかな」くらいの関係だった人も多かったですよね。

對馬：ジャレッドくんとはGSA※で一緒で、顔は知っていても話したことはありませんでした。でも、すごく仲良くなった気がします。

中嶋：私は専攻科2年生で、最年少は3年生なので、かなり学年が離れていて、普段は全然関わりがありませんでした。でも、5日間一緒に過ごしてとても仲良くなれました。部活などでも、ここまで専攻科生と本科生が関わる機会はなかなかないと思うので、それもすごくいい機会になりました。あと、水や食べ物が合わなくてお腹を壊したりするという話を聞いていたので、そこは結構心配でした。でも、無事に健康に過ごすことができましたし、食事ものすごく自分の舌に合っていて、今は台湾のご飯が恋しいです。

田口：私も水は結構気にしていました。着いた直後にガイドさんとコンビニへ行きどの水が軟水か聞きました。日本よりも水の種類が多く、水だけで一つの棚が埋まっていて、表示方法も違うし、危うく硬水を買いそうになりました。ちょっと警戒しすぎていたところもあるかもしれませんが、体調を崩したくなかったので、軟水を選ぶようにしていました。

※Global Student Ambassador（苫小牧高専国際交流センター学生委員）

ジャレッド：食事の心配はなかったです。お土産を買う時、中国語の漢字が読めないことは少し心配でしたが、Google レンズで翻訳したら大丈夫でした。

○研修を通してどのような変化があった？

田口：現在3年生で、進学か就職か、すごく迷う時期なんです。就職方向になり気持ちは傾いていたのですが、色々な研究施設を訪問して、研究職は一つのことを深く集中して突き詰められる仕事なんだなと感じて、「すごくいいな」と思いました。また迷うことになったのですが（笑）逆に自分の進路を再確認して、「本当にこれでいいのか」と考える、いい機会になったと思います。

對馬：好奇心が広がったような気がします。海外に行って、日本とは違うものをいろいろ見る中で、「これはどうなんだろう」と考えることが増えました。帰国後も夏休みが終わるまで東京など色々な場所に行ったのですが、気になったものをすぐ見に行くようになって、行動に移すまでのハードルが下がったような気がします。

中嶋：研修を通して、意外と人見知りだったのかも、初対面の人と話すのが苦手だったのかもしれないと思いました。DMM英会話をずっとやっていたのですが、最初は緊張もあって、話せなかったりすることもありました。でも、研修を通して「とにかくしゃべってみよう」と思うようになりました。今までは聞かれたことに答えるだけのレッスンでしたが、帰国後は「負けないくらいしゃべってやろう」という気持ちも芽生えました。実際にテストのスコアも大幅に伸び、そこは自分の中で変わったなと感じています。

ジャレッド：これまでは、日本とマレーシア以外の友達がいなかったのですが、B&Sの現地学生と友達になりました。自身のキャリアパスについても、半導体の知識が浅かったのですが、TSMCや他の施設を見学して、知識が深まりました。台湾の人と会話する時にも、台湾の文化を以前より理解できるようになったと思います。

○研修参加を考えている学生に一言

田口：台湾は、日本人に対してフレンドリーな人が多いので、すごく楽しめると思います。初めての海外だったとしても、そんなに心配する必要はない、と伝えたいです。

對馬：台湾は、気候の面でも文化の面でもものすごく過ごしやすかったので、興味があるなら行ってみてほしいです。言語についても、ある程度の自己紹介と挨拶が英語か現地の言葉でできれば、普通に生活できると思います。あまり自分のスキルを理由に躊躇せず、一歩踏み出してほしいです。伝える気持ちが一番大事なので、そこをしっかり持ってもらえれば、全然楽しめると思います。

中嶋：ぜひ色々な海外研修プログラムに参加してほしいと思います。行き先も色々あると思うので。私は専攻科2年生になるまで参加したことがなかったのですが、「これがもし3年生の時だったら、違う景色がきっと見えていたんだろうな」ともすごく感じました。「まず行ってみる」という選択がいいかなと思います。

ジャレッド：一番みんなが心配なのは言語だと思います。英語をあまり話せない、中国語を話せない、という心配があると思うのですが、今回の台湾派遣研修で僕が一番使ったのは日本語です。（一同笑）例えば、タピオカドリンクを買う時も英語で話しかけたのですが、日本語で返ってきて、初日は本当に驚きました。台湾の人は、ある程度日本語を話せるんだなと思いました。私は留学生ですけど海外経験がない人も多いと思います。海外での経験はすごく楽しいと思うので、ぜひ参加してみてほしいです。

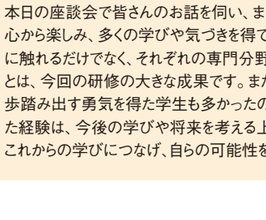
有馬：ジャレッドさんは留学生として参加してくれて、個人的にすごく良かったと思っています。マレーシアと台湾、日本の3か国を比較することもできますし、別の視点を入れてくれたのは良かったです。ぜひ留学生の皆さんにも、また参加してほしいですね。

番外編

○一番美味しかった物

「胡椒餅」
・B&Sで現地の学生さんに教えてもらったお店の胡椒餅がすごく美味しかったです。胡椒がすごく効いていて、日本にはない味でした。香辛料が好きなので台湾の食事は全体的に自分好みでした。

「魯肉飯（ルーローハン）」
・器は小さいのに味が濃いめで食べ応えがありました。
・現地学生と行った「天天利美食坊」が一番美味しかったです。半熟目玉焼きが特徴。一人では入るのを躊躇うようなローカルなお店です。
・台湾の産業の歴史がここから生まれているんだなと感じた。



☆TSMC台積創新館（1票）

・VR体験では、未来の自動運転車や空を飛ぶジェットパックのような乗り物が登場する未来が描かれていて興味深かった。



○中国語で感謝を伝える

對馬：研修最終日の前日、学生を代表してガイドさんへの挨拶を頼まれました。夜ホテルで準備と練習をし、翌日感謝の言葉を中国語と日本語で伝えました。緊張で予定よりも短い挨拶になってしまいましたが、ガイドさんはとても喜んでくださり、「日本語で言わなくても伝わったよ」と声をかけてくれました。伝えようとする気持ちの大切さを実感しました。

有馬：ガイドさんもすごく喜んでいましたね。ガイドさんの目が潤んでいたのを覚えています。旅の最後を飾る、すごく素敵なシーンでした。

○最も印象に残った訪問先

★ITRI（工業技術研究院）（3票）
・台湾の先端技術産業を網羅している感じ。展示もわかりやすい！
・台湾の土木分野についても触れられていて、アスファルトや膜ろ過、コンクリート等の展示があった。
・台湾の産業の歴史がここから生まれているんだなと感じた。

○お気に入りの一枚



▲台北101
台湾で一番高い建物。景色がとても良かった。



▲中正紀念堂
建物の前で儀仗隊の方々が銃を使った演技をしている様子。

引率の先生方から

鈴木：今回の海外研修は、新たな関心や学びにつながる大切な「きっかけ」になると思います。私自身、さまざまな国を訪れることで、その国への興味や親近感が深まることを実感してきました。台湾も、これから皆さんにとって、地図上の一つの場所ではなく、風景や人々、食べ物などの思い出と結びついた特別な存在になるでしょう。今回の経験をきっかけに、台湾の歴史や文化、社会についてさらに関心を深めるとともに、今後もさまざまな国や地域を訪れ、自分の世界を広げていってほしいと思います。この研修が、皆さんの今後の学びや行動につながる新たな一歩となることを期待しています。

有馬：本日の座談会で皆さんのお話を伺い、また現地での様子を振り返る中で、何よりも今回の研修を心から楽しみ、多くの学びや気づきを得てくれたことを大変うれしく思いました。台湾の歴史や文化に触れるだけでなく、それぞれの専門分野や関心から現地を見つめ、新たな発見につなげられたことは、今回の研修の大きな成果です。また、積極的に人と関わろうとする姿勢や、未知のことに一歩踏み出す勇気を得た学生も多かったのではないでしょうか。研修は短い期間でしたが、そこで得た経験は、今後の学びや将来を考える上で大切な財産になります。今回芽生えた関心や課題をこれからの学びにつなげ、自らの可能性をさらに広げていくことを期待しています。



○B&Sプログラム
(Brother&Sister Program)

台湾の現地大学生が「兄・姉」のような立場で、日本から来た学生と一緒に街歩きや交流をするプログラム。
今回は台湾で日本語学科を専攻している大学生に協力していただき、グループに分かれて台北市内の観光地を回りました。



研修スケジュール

1日目	台北へ移動
2日目	大学見学・B&Sプログラム（台北市内街歩き）
3日目	TSMC台積創新館 新竹サイエンスパーク探索館 ITRI（工業技術研究院）見学
4日目	忠烈祠、故宮博物院、九份、十份見学
5日目	新千歳へ移動

海洋・海氷動態研究室

総合自然系　柏瀬陽彦

研究室紹介

南極や北極の海氷（sea ice）の長期変動がグローバルな気候変動にどう効くか?を解き明かすことを目指して研究しています。海氷というのは海水が凍った氷のことで、氷山（陸の氷が流れ出たもの）とは全く別のものです。海水は凍る際に濃い塩水を外へ放出し（凍らせたジュースをイメージしてください）、それが沈み込むことでグローバルな海洋熱塩循環が駆動されます。南極海では、全世界の海水の30～40%を占める南極底層水が作られます。

最近の観測からは南極底層水の低塩化・昇温化傾向が報告されていて、つまり海の深い部分が温暖化しています。この原因として南極海の海氷生産量変動（特に減少）が効いているのではないかと考えたのですが、肝心の長期での海氷生産量データがありません。海氷生産量は厚さ分布がわかれば熱収支解析と組み合わせて見積もることができます。そこで、衛星観測データから海氷の厚さを推定する手法（薄氷厚アルゴリズム）を開発することから始めました。あらゆる衛星観測データや現場観測との比較を駆使して



60次南極地域観測隊しらせ船上にて

アルゴリズムを開発し、過去50年の海氷生産量データを作ってみたところ、南極底層水の変動との有意な相関が確認できました。今後は、他の要因（氷床融解など）との比較をしながら、「どこで」「何が」「どのくらい」南極底層水に影響するのかを明らかにしていこうと考えています。フィールドワークにも行きたい。

ちなみに、研究室といいつつ学生もいないので一人親方でやっています。研究室名も今考えました（出身研究室のものを勝手に名乗っています）。



人事異動

○令和8年4月20日付

非常勤教職員

【採　用】

学生課寮務係事務補佐員（寮母）　菊地綾子

○令和8年9月29日付

非常勤教職員

【採　用】

事務補佐員（奥山准教授研究室）　中野敏清

事務補佐員（奥山准教授研究室）　松浦　遊

○令和8年10月1日付

事務職員

【昇　任】

学生課教務係主任　新井山梨恵（学生課教務係一般職員）

学生課学生係主任　三浦　唯（学生課学生係一般職員）

○令和8年10月1日付

非常勤教職員

【採　用】

技術補佐員（渡邉准教授研究室）　下道千聖

技術補佐員（渡邉准教授研究室）　横内杏亮



《お詫びと訂正》

「高専通信171号」の掲載内容に一部誤りがございました。

新任教員紹介のページにおいて、大川創先生の掲載が漏れておりました。

また、就職に関するページにおいて、「王子マテリア株式会社」様を「王子マテリアル株式会社」と誤って記載しておりました。

関係の皆様には、多大なご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

なお、本誌は既に配布済みであるため、本校ホームページに修正版を掲載しております。

このたびは誠に申し訳ございませんでした。

高専協力会だより

苫小牧高専協力会の活動について

2025年4月1日～2026年3月31日

1 事　業

❶ 専攻科研究・研究シーズ発表会の開催

●苫小牧高専地域連携シンポジウム2025

日 時：2025年12月22日（月）17：00～20：00

場 所：グランドホテルニュー王子3階「グランドホール」

講 演：「ベンチャー起業から北海道進出、今日まで」

株式会社FJコンポジット 代表取締役　津島栄樹 氏

専攻科研究発表：専攻科生1年次22名ポスターセッション形式



❷ U・Iターンマッチングシステムへの参画

●登録企業数：68社

❸ 会員企業合同研究会の開催

●第14回苫小牧工業高等専門学校協力会会員企業合同研究会

日　　時：2025年12月9日（火）13：00～16：10

会　　場：苫小牧工業高等専門学校　第一体育館

出展企業：93社



❹ 地域共同研究センター並びにキャリア教育センターとの連携

●随時実施しております。

❺ 苫小牧高専公開講座への協力

●「苫小牧高専令和7年度公開講座」への後援

日 時：2025年7月28日（月）～2025年7月30日（水）

❻ 学生との交流・共同事業

●「令和7年度授業科目共同教育」への後援

●苫小牧高専「創造工学Ⅰ・Ⅱ」における座談会「ジョブトーク」への協力

日 時：2025年11月5日（水）～2025年11月6日（木）

●「令和7年度共同教育プロジェクト成果発表会」の共催

日 時：2025年9月8日（月）

❼ その他関連事業への協力

●苫小牧高専サテライト「C-base」との連携・協力

❽ 図書寄贈の実施

●苫小牧工業高等専門学校学術情報センターへ研究図書を寄贈

❾ 特別助成の実施

●若手研究者に対する研究助成

●成果発表会の実施

日 時：2026年3月26日（木）15：00～16：05

場 所：苫小牧経済センタービル6階「大ホール」

講 演：「無人搬送車を考慮したエネルギーマネジメント技術の開発」
～実機を用いた検証基盤の構築～
苫小牧高専創造工学科（電気電子系）助教 大澤拓門 氏

「苫小牧市におけるごみ処理事業に関する持続可能な形の提言」
～設計改善およびうぐいす団地での試験的設置～
苫小牧高専創造工学科（総合人文科学系）講師 河野友哉 氏

「土壌表面電荷を模倣するスマートデバイスの開発と植物成長評価への応用」
～土の性質を再現して、植物の育ち方を調べる新しいしくみ～
苫小牧高専創造工学科（応用化学・生物系）特命准教授
アルテアガ アルテアガ フェルナンド 氏

●苫小牧市スマートシティ官民連携協議会への参画

●デジタル技術等を活用した地域課題研究助成

2 各種助成

❶ 研究費助成

●苫小牧高専地域共同研究センターへ研究費として助成

❷ 専攻科一学年授業科目「共同教育」への助成

●苫小牧高専「共同教育」授業科目への負担として助成

3 積　立

● 苫小牧高専新規事業への特別助成の実施に向けた積立

4 諸会議

❶ 総会

日 時：2025年6月26日（木）16：30～17：30

場所：グランドホテルニュー王子　3階「グランドホール」

❷ 幹事会・役員会

●第一回（幹事会）

日 時：2025年5月20日（火）16：00～17：00

場 所：苫小牧経済センタービル6階「大ホール」

●第二回（幹事会）※書面開催

開 催：2025年10月

5 広　報

❶ 高専通信による広報

❷ 協力会事業PR・会員加入奨励並びにHPによる広報

6 その他運営に係わる事業

❶ 入学式：2025年4月8日

●関根会長　福森副会長　田中幹事長が出席いたしました。

❷ 卒業式：2026年3月19日

●関根会長　福森副会長　田中幹事長が出席いたしました。

高専通信

VOL.172 CONTENTS

第1学年オリエンテーション …… 1
授業参観 …… 1
第2学年オリエンテーション …… 2
寮祭 …… 3
春季体育大会 …… 3
高専体育大会（北海道地区） …… 4
高専体育大会（全国） …… 5
TOPICS …… 6
オープンキャンパス …… 7 8
クラブ活動報告 …… 9 10
海外研修座談会 …… 11 12
高専協力会だより …… 13
研究室紹介 …… 14
人事異動 …… 14
お詫びと訂正 …… 14

編集後記

『高専通信』第172号をお届けいたします。今号では、新入生のオリエンテーションから始まり、春季体育大会や伝統の寮祭、各部活動の目覚ましい活躍がみられた地区高専体育大会の結果など、本校の日常を余すところなくお伝えいたしました。

また、真夏に開催され1,000名を超える方々にご来場いただいたオープンキャンパスや、東京での苫小牧市との共同イベントなど、地域や社会と深くつながる本校の多面的な取り組みも特集しております。

紙面を作成する中で特に印象的だったのは、台湾での異文化産業理解型研修に参加した学生たちの晴れやかな表情です。言語や文化の壁に惑わされることなく、「伝えたい」という情熱を持って一歩踏み出し、世界や未来へと視野を広げていく姿に、本校学生の頼もしさと可能性を強く実感いたしました。学びへの探究心はもちろん、課外活動や国際交流といった多様な挑戦を通じて、日々成長を続ける学生たちの熱気が少しでも読者の皆様へ伝わりましたら幸いです。

末筆ではございますが、ご多忙の折に原稿の執筆や写真の提供にご協力いただきました教職員・学生の皆様、ならびに日頃より温かいご支援を賜っております保護者や協力会をはじめとする地域の皆様に、心より深く感謝申し上げます。

今後とも苫小牧高専への変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

［高専通信に関するお問い合わせ先］
苫小牧工業高等専門学校　総務課総務係
〒059-1275　苫小牧市字錦岡443　TEL.0144-67-0213
［MAIL］pub_info@tomakomai-ct.ac.jp

Instagram 開設しました。

UiDesign - stock.adobe.com